事務事業名	労政審議会運営事	業	部 局 名 産業経済部									
3,3 3 3,10 F			課(室)名 産業振興課									
【基本情報】												
基本目標	01安心して暮らせる	まちをめざして										
政策	03市民生活の安全・第	03市民生活の安全・安定を確保する										
施策	₹ 05勤労者福祉を充実で	する										
事業実施期間	□ 平成2年度 ~ 永年	年										
事業区分	①一般事務経費事業											
地 区 別	市内全域											
関連根拠法令等	นแ											
【事業概要】												
現状と課題		っており、諮問機	関としての役割が十分とは言えない									
目的	労働者、使用者、学識組	経験者からの意見	を市政に反映させる。									
※対象(誰・何)を												
どのような状態 にしたいのか												
1.1	労働福祉に関すること。	。労働教育に関す	ること。雇用促進対策に関すること									
対 象	┃加古川巾立勤労会館の』 ┃と認める事項。	連宮に関すること	。その他労働行政に関し、市長が必									
※誰、何に対して												
	市長からの労働施策等の	の諮問事項を協議	し答甲する。									
事業内容												
※目的達成のための手段・手法												
		[
【コスト】	平成28年度(決算見込)	【会計】 会 計	0 1 一般会計									
事業費合意		款	05労働費									
国庫支出金		項	01労働諸費									
財			02労働諸費									
源地方值		目	0.2万圆阳县									
内その他特則		細 目	010労政審議会運営事業									
訳 一般財源												
【コスト推移】	102 1											
	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算) 平成26年度(決算)									
事業費合計	102 千円	103	千円 113 千円									
【総合評価】												
	□拡充 ■維持 □縮小	ト □改善 □統台	□廃止 □休止 □完了									
60	事業目的を達成するため	めには、引き続き	開催していくことが適当と考えてい									
総合評価	が、審議項目や時期に											
※妥当性・有効性 ・効率性の視点												
をもとに総合的 に判断した評価	1											
	1											
	1											

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事	務	事	業	名	労政審議会運営事業	部	局	名	産業経済部
7	477	7'	π	7 µ		課	(室)	名	産業振興課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

【対象】

平成26年度
1 100 1 10

【事業実績】

【 尹	亲 夫爾	₹ 】						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活!	動 指	標						
分,	折 結	果						

成	果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
4	H +F7	1 m										
放 5	果 指	保										

事務事業名	勤労会館管理運営事業 部局名 産業経済部
事 初 事 未 有	課(室)名 産業振興課
【基本情報】	
基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして
政策	03市民生活の安全・安定を確保する
施策	05勤労者福祉を充実する
事業実施期間	平成13年度 ~ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地 区 別	市内全域
関連根拠法令等	
【事業概要】	
現状と課題	昭和47年4月に開館しており、施設が老朽化している。またエレベーターが 設置されていないなど、バリアフリーに対応していない。
目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	指定管理者が労働団体であることから、勤労会館の設置趣旨である勤労者のための会館として活性化を図る。
対 象 ※誰、何に対して	勤労者のみならず一般市民が利用対象者となっている。
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法	勤労者の教養文化の向上と福祉の増進に寄与するために設置されている勤労会館の運営管理業務を行うが、平成27年度から、引き続き(一社)加古川労働者福祉協議会を指定管理者として管理業務を委託している。
【コスト】	(会計)
	平成28年度(決算見込) 会 計 01一般会計
事業費合計	
国庫支出金	,
財界支出金	五四 0 1 勘
源地方債	H 1
内その他特財	0.1.0 勤労会館營理運営事業
訳 一般 財源	401 1
【コスト推移】	14,842 千円
「一八十」臣4多】	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算)
事業費合計	
【総合評価】	10,000 1
	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
	事業目的を達成するためには、引き続き維持・管理していく必要があり、施設
総 合 評 価	事業自的を達成するためには、別さ続さ無行・管理していて必要があり、施設 の老朽化への対応が急務である。
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	

事務事業名	勤労会館管理運営事業	部 局 名	産業経済部
事 切 事 未 和		課(室)名	産業振興課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

【対象】

I ∨:	沙							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
施記	设利用	者数			人	66, 169	75, 066	

【事業実績】

* 来夫的	頁】										
動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度				
施設利用者数				人	66, 169	75, 066					
動 指析 結	程	度使月	目で:	きなかった	と。平成29年月	度は、高圧受電詞	多のため1ヶ月 投備工事を予定				
	動	投利用者数 平 程	動 指 標 受利用者数 平成 2 程度使	動 指 標 名 设利用者数 平成28年 程度使用で	動 指 標 名 単 位 受利用者数 人 平成28年度は30 程度使用できなかっ7	動 指 標 名 単 位 平成28年度 受利用者数 人 66,169 平成28年度は301会議室(定員)程度使用できなかった。平成29年度	動 指 標 名 単 位 平成28年度 平成27年度 受利用者数 人 66,169 75,066 平成28年度は301会議室(定員130名)が改作 程度使用できなかった。平成29年度は、高圧受電話				

【事業成果】

成	果		標	名	単	位	平成28年度	平成27	年度	平成26年	三度	目標年度	目	標	値
	2000年				人		66, 169		5, 066						000
					, .		,		,			平成32 年度		,	
		平中	t 2 8	年度	まは3	0 1	会議室(定員	130名)	が改作	冬のため1	ヶ月科	虚度使用で	きか	かった	

平成28年度は301会議室(定員130名)が改修のため1ヶ月程度使用できなかった。 成果指標平成29年度は、高圧受電設備工事を予定しており、計画人数を70,000人としてい 分析結果 る。

事務事業名	シルバー人材セン	ター助成事業	部 局 名 産業経済部							
事 伤 事 未 石			課(室)名 産業振興課							
【基本情報】										
基本目標	01安心して暮らせる	まちをめざして								
政策	03市民生活の安全・	安定を確保する								
施 策	05勤労者福祉を充実	する								
事業実施期間	昭和62年度 ~ 永	年								
事 業 区 分	⑤市施策事業(経常)									
地 区 別	市内全域									
関連根拠法令等	高齢者等の雇用の安定	等に関する法律								
【事業概要】										
現状と課題	高齢者人口が増加する中、高齢者の経済的な生活習慣づくりや生きがいづくりを確保していく必要がある。									
目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか			的な就業又はその他の軽易な業務に係 に対して組織的に提供する等、高年齢							
対 象 ※誰、何に対して	加古川市内在住で原則 シルバー人材センター		の健康で働く意欲のある方が加入する							
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法	シルバー人材センター	からの申請により	、事業費用の一部を助成する。							
【コスト】		【会計】								
	平成28年度(決算見込)	会計	01一般会計							
事業費合計	18,130 千円		05労働費							
国庫支出金	千円	項	0 1 労働諸費							
県 支 出 金	千円	目	0 2 労働諸費							
地方債	千円									
その他特財	千円	細目	0100/101、八個にマクー助成事来							
一般財源	18,130 千円									
【コスト推移】	亚-200万克(沙然日)1)	五十0月左京 (汝)	Ti-book to (Abra)							
事業費合計	平成28年度(決算見込) 18,130 千円	平成27年度(決算)								
	16, 150 円	17, 130	17,130 円							
【総合評価】	□抗充 ■維持 □綻,		、 □廃止 □休止 □完了							
			がいづくりに寄与しており、継続して							
総合評価	実施する必要がある。	\mathbb{R}^{N} \mathbb{C} \mathbb{R}^{N} \mathbb{C} \mathbb{R}^{N}								
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価										

重	終	重	業	夕	シルバー人材センター助成事業	部	局	名	産業経済部
4,	דעני	7,	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	~H		課	(室)	名	産業振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対 象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
60歳以 月住民基	上の人 本台帳	、口 (養)	(4	人	85, 158	84, 245	83, 114

【事業実績】

【尹禾大順】					
活 動 技	指標 名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
シルバー人材	材センター	人	1, 382	1, 359	1,352
会員数					
	シルバー事	業の普及	・ 啓発活動の推済	進	
活動指標					
分析結果					
活動指標分析結果		業の普及	・啓発活動の推入	進	

【号	業成果														
成	果	指	標	名)	単 位	平成28年	年度	平成27	年度	平成	26年度	目標年度	目	標	値
シル	レバー人	材セ	ンター		人		1, 193		1, 158		1, 170	平成32 年度		1,	200
死	業実人員	Į.										牛皮			
				t											
		シノ	レバー事	工業	の普及・	· 啓発活動	りの推進	<u> </u>		1		I			
成分	果指標析結果														
),	'VI 사다 기														

事	務事業	_】 技能切穷有表彰 事	· 美	爿2	同	名	座 美栓 資 部
•	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			課	(室)	名	産業振興課
【基	基本情報】						
基	本 目	票 01安心して暮らせる	まちをめざして				
政		策 03市民生活の安全・	安定を確保する				
施		第 0 5 勤労者福祉を充実	する				
事	業実施期	間 昭和59年度 ~ 永	 年				
事	業区	分⑤市施策事業(経常)					
地	区	引 市内全域					
関	連根拠法令	等					
【事	事業概要】						
現	状と課	近年表彰者が減少して	いる。				
ع	自 対象(誰・何)を どのような状態 こしたいのか	優れた技能をもって社 向上と地域産業の発展	会に貢献した人々 に貢献する。	の功	加績を	をた	たえることで、技能水準の
対 ※ 計	髪	技能者として、経験年	数20年以上を有	し、	カン	つ 年	を 齢が50歳以上の者。
事 ※ [業 内 名 目的達成のため ロ手段・手法			た技	を能る	とも	っって社会に貢献した人々の
[=	コスト】	_	【会計】				
		平成28年度(決算見込)		0 1	<u>一</u> 舱	殳会	計
事	業費合	計 176 千円	款	0 5	労働	動費	,
財	国庫支出	金 千円	項	0 1	労賃	助諸	費
	県 支 出	金 千円	目	0 2	2 労賃	助諸	費
	地方	于		0.0		اک ما	~ ~ [
	その他特	サ 千円	細目	0.3	3 O D	文形	的労者表彰事業
訳	一般財	原 176 千円					
[=	コスト推移】					_	
		平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)		平月	成26年度(決算)
事	業費合	計 176 千円	121	千円			121 千円
【糸	総合評価】						
		□拡充 ■維持 □縮/	」 □改善 □統合] []廃」	止	□休止 □完了
総	合 評 危	事業目的を達成するたる。	めには、現状どお	りの	事業	美を	:継続することが妥当であ
き	妥当性・有効性・ ・効率性の視点 をもとに総合的 こ判断した評価						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名 技能功労者表彰事業	部 局 名 産業経済部
事 伤 事 未 石	課(室)名 産業振興課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

【対象】

対 第	も 指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
労働者	(加古川	市統計	+	人	86, 110	86, 110	86, 110
書)	V			, ,	,	,	,

【車業宝繕】

未关税	₹ 】						
動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
自功労	者表彰	/者数		人	8	6	5
	/ari		ماد ، ا	2 2			
	▋技	れた五 能水準	を能を	をもってん 句上と地切	生会に貝献した力 或産業の発展に貢	(々の切績をた7 貢献する。	こえることで、
動 指 : 析 結	標果						
	動	一 優	動 指 標 毛功労者表彰者数 優れた打 技能水準	動 指 標 名 毛功労者表彰者数 優れた技能 技能水準の	動 指 標 名 単 位 毛功労者表彰者数 人 優れた技能をもって社 技能水準の向上と地域	動 指 標 名 単 位 平成28年度 乏功労者表彰者数 人 8 優れた技能をもって社会に貢献した人 技能水準の向上と地域産業の発展に貢	動 指 標 名 単 位 平成28年度 平成27年度 乏功労者表彰者数 人 8 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6

【事業成果】

	+ 耒収 🤄	₹】													
成	果	指	標	名	単 位	江	平成28年度		平成27年度	平成26年	变	目標年度	目	標	値
技能	能功労	者表彰	者数		人		8	3	6		5	平成32			10
												年度			
		優	れた技	能る	をもって	社会	に貢献した	人	々の功績をたた	こえることで	ĩ, <u>t</u>	支能水準の	向上	と地域	產

成果指標業の発展に貢献する。分析結果

事務事業名	勤労者住宅資金融	資対策事業		局 名	
			課(室)名	産業振興課
【基本情報】	0.4 (4.) 1. ~ # > 1.7				
基本目標	7				
政策					
施策	2,0,0 11 11 1 2 2 2 2 2				
事業実施期間	/4:	Ē			
	⑤市施策事業(経常)				
地区別	市内全域				
関連根拠法令等					
【事業概要】					
現状と課題	の 町 広 ナ 石 田 土 フ 地 単一	助金利が主流にな 者が大幅に減少し	つてこ	おり、 る。	全期間固定金利である本市
目的	勤労者の持ち家取得を係	足進し、勤労者の	ゆと	りある	生活の創出を支援する。
**対象(誰・何)を どのような状態					
とのよりな状態 にしたいのか 					
対象	加古川市内の住宅を新勢	築、購入、リフォ	ーム・	する労	冷働者 。
~~					
※誰、何に対して					
	低利な融資を受けられる	るようにするため	、近	畿労賃	加金庫に対して融資資金の一
事 業 内 容	部として毎年預託金を予	貝託している。			
※目的達成のため の手段・手法					
の子权・子伝					
		7 A -1 3			
【コスト】	亚-1200年度(治療日江)	【会計】	0.1	ሰ几 △	. ⇒l
± ± ± ^ = 1	平成28年度(決算見込)	会 計		一般会	
事業費合計	, , , , , ,	款		労働費	•
国庫支出金		項		労働諸	
源基地金	千円	目	0.25	労働諸	育
地方债	千円	細 目	0 3	5 勤労	
その他特財	,	和山口			
【コスト推移】	千円				
「コハ下」田夕」	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算	.)	亚	成26年度(決算)
事業費合計		1, 000, 200		1 /	915,000 千円
【総合評価】	122, 000 1	1, 000, 200	111		310,000 111
()	□拡充 □維持 □縮小	、 ■改善 □統合	→	盛 止	□休止 □完了
総合評価	近年利用件数がなく、利				7年度から融資利率の引き
※妥当性·有効性	下げを行った。				
・効率性の視点をもとに総合的					
に判断した評価					

 事務事業名
 勤労者住宅資金融資対策事業
 部局名産業経済部

 課(室)名産業振興課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

【対象】

1/1/2/						
対 象			単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
労働者書)	(加古川	市統計	人	86, 110	86, 110	86, 110

【事業実績】

<u></u>	·耒夫領	. 1							
活	動	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
勤労	労者住宅	三資金	金融資		件	Ė	1	2	0
		,			- / F		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		
		本	制度の高くな	O利≧ よつ ~	軽(ほ ている	国定会	è利)が他の金幅 り、近年は融資作	融機関の利率(② 牛数が大幅に減少	发動金利)に比 少している。
活	動 指 村 括 爿	票果							
	71 718 2	, -							

(尹禾)	八八										
成 界	見 指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
勤労者	住宅資金	à融資		件	1	2	0	平成32 年度			5
								牛皮			
		11.11-	7.1	b / - 1 - 1				> >			
成里	本 担 担	制度の	利益	释(固定st 生数が大幅	≳利)が他の金融 国に減少している	u機関の利率(変 S	変動金利)に比~	ヾ高くなっ	ている	らため、	
分析	結果	ALLICITA	ЖI	1 200 / 7 / 11	量に減少している	ν ₀					

事	務事業名	労働行政連営事業	_	部局名	産業経済部	
7	切 尹 禾 石			課(室)名	産業振興課	
	基本情報】					
基	本 目 標	0 1 安心して暮らせるまちをめざ	して			
政	策	03市民生活の安全・安定を確保	する			
施	策	05勤労者福祉を充実する				
事	業実施期間	~ 永年				
事	業 区 分	⑤市施策事業(経常)				-
地	区 別	市内全域				-
関	連根拠法令等					
[事業概要】					
現	状 と 課 題	社会経済情勢が変化するなか、労る。	働者団体	本と労働者	「福祉の充実を	図る必要があ
	的 対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	市として関係機関・団体を援助す及び就業の支援を図る。	ることに	こより、地	1域内の勤労者の	の福祉の充実
対 ※	象 誰、何に対して	勤労者(対象指標は市内事業所に	おける従	芷業員数)		
事 ※	業 内 容 目的達成のため の手段・手法	メーデー負担金、(一財) 兵庫県 福祉協議会補助金を交付する。加	雇用開多古川区村	路協会負担 検察庁跡地	日金、(一社)力 1建物の購入。	加古川労働者
Ī	コスト】		-]			
		平成28年度(決算見込) 会	計 (0 1 一般会	計	
事	業費合計	9,846 千円	款 (0 5 労働費	ţ	
財	国庫支出金	千円	頁 (0 1 労働諸	費	
	県 支 出 金	千円		0 2 労働諸	音費	
源	地 方 債					
内	その他特財	千円	E	005労働	协行政運営事業	
訳	一 般 財 源	9,846 千円				
<u></u>	コスト推移】					
		平成28年度(決算見込) 平成27年月	度 (決算)	平月	成26年度(決算)	
事	業費合計	9,846 千円	3,943 ₹	千円	3,923 千日	円
	総合評価】					
		□拡充 ■維持 □縮小 □改善	□統合	□廃止	□休止 □完□	了
総	合 評 価	事業目的を達成するためには、現 ある。	状どおり	りの事業手	段を維持する。	ことが適当で
	妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価					

事務事業名	労働行政運営事業	部 局 名	産業経済部
事 扮 事 未 4		課(室)名	産業振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
労(書)	動者	(加古川	市統	計	人	86, 110	86, 110	86, 110
音								

【重業宝績】

【事業美績】					
活動	指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
加古川労働 会会員数	者福祉協議	人	9, 579	9, 474	9, 536
兵庫県雇用 助会員数	開発協会賛	社	748	953	
メーデー参	加者数	人	4,000	3, 500	5, 000
活動指標分析結果		負担金の額	頁は適正である。		

【事業成	果】						
成果	指標	占 単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
加古川労会会員数	·働者福祉協議 (人	9, 579	9, 474	9, 536	平成32 年度	9, 474
兵庫県雇助会員数	用開発協会賛 (社	748	953		平成32 年度	953
メーデー	参加者数	人	4,000	3, 500	5, 000	平成32 年度	3, 500
成果指分析結	補助金及び標果	負担金は道	・ 適正に執行されて	ている。			

事務事業名	インターンシップ支援事業	部 局 名 産業経済部							
• "		課(室)名 産業振興課							
【基本情報】									
基本目標	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,								
	03市民生活の安全・安定を確保する								
	05勤労者福祉を充実する								
事業実施期間									
	⑥市施策事業(臨時)								
地 区 別	市内全域								
関連根拠法令等									
【事業概要】									
現 状 と 課 題	大学等卒業見込者の大企業志向が強まって に集中する傾向がある。	ている。結果、新規就労者が大都市部							
目的	インターンシップ生受け入れについて、企	企業が消極的となっている一因である							
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	経済的な負担を軽減する。								
	大学生等及び市内にインターンシップ生を	を受け入れることができる事業所等を							
対 象	有する企業。								
※誰、何に対して									
事 業 内 容	インターンシップ生を受け入れた企業に対 5,000円、1企業50,000円をM	インターンシップ生を受け入れた企業に対し、受け入れ学生1人につき1日 5,000円、1企業50,000円を限度に補助金を交付する。							
※目的達成のため の手段・手法									
【コスト】	[会計]								
	平成28年度(決算見込) 会 計 (01一般会計							
事業費合計	454 千円 款 (0 5 労働費							
国庫支出金	千円 項 (01労働諸費							
県 支 出 金	千円 目 (02労働諸費							
地 方 債									
その他特財	千円 細 目	025雇用促進・就職支援事業							
一般 財源	454 千円								
【コスト推移】									
	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算)	平成26年度(決算)							
事業費合計	454 千円 1	千円 千円							
【総合評価】									
	□拡充 □維持 □縮小 ■改善 □統合								
総 合 評 価	企業に対する経済的支援のほか、学生等と を支援する方法について検討する必要がも								
※妥当性・有効性 ・効率性の視点									
をもとに総合的に判断した評価									
. 17171 ОТСИТИМ									

事務事業名 インターンシップ支援事業 部局名産業経済部 課(室)名産業振興課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

【対象】

1/1/2	~/\ I								
対	象	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
労働	渚	(加古川	市統	計	J	(86, 110		
書)									

【事業実績】

【事》	美実績	<u> </u>							
活	動	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
補助	金交付	対象	是者数		人		38		
補助	金交付	计団体	Ž		団体	Z	11		
		1	1 企業	きか	Б 38	人分	分の申請があった	÷ 	
活動分析	b 指 标	票							

【事業成果】

「甲木八八八									
成果	指標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標	値
補助金交付	対象者		人	38			平成28 年度		60
補助金交付	団体		団体	11			平成28 年度		30

成果指標分析結果

予算執行率は、30.3%であった。企業に対する経済的支援だけではなく、学生と企業を 引き合わせする機会の提供が必要であったと考えられる。

事務事業名	雇用促進 · 就職支	援事業	部 局 名	産業経済部
			課(室)名	産業振興課
【基本情報】				
基 本 目 標	01安心して暮らせる	まちをめざして		
政策	03市民生活の安全・	安定を確保する		
施策	05勤労者福祉を充実	する		
事業実施期間	~ 永	——————————— 年		
事 業 区 分	⑥市施策事業 (臨時)			
地 区 別	市内全域			
関連根拠法令等				
【事業概要】				
現 状 と 課 題	有効求人倍率は回復し 者の求職活動への支援	てきているものの、 が求められている。	、国、県と	: 比較すると依然として若年
目 的	就職支援事業を実施し	、求職活動中の者の	の早期就職	後を支援する。
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか				
	求職活動中の者。採用	予定のある近隣企	業。	
対 象				
※誰、何に対して				
	ジョブフェア(合同就	職面接会)の開催。)	
事 業 内 容				
※目的達成のため の手段・手法				
_				
【コスト】		【会計】		~1
	平成28年度(決算見込)		0 1 一般会	
事業費合計	500 千円		05労働費	
財 国 庫 支 出 金	千円		0 1 労働諸	
源 支 出 金	千円	目	02労働諸	
地方債	千円	dem.	025雇用]促進・就職支援事業
その他特財	千円	細目	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
一般財源	500 千円			
【コスト推移】	亚比99年库(海然日27)	亚比07年度(348年)	ਹ ਹ	士OC 年
市 光 弗 ^ =1	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)		成26年度(決算)
事業費合計	500 千円	500 =		500 千円
【総合評価】				
		小 □改善 □統合		□休止 □完了
総 合 評 価	事業目的を達成するたある。	めには、現状どお	りの事業手	段を維持することが適当で
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価				

事務事業名	雇用促進・就職支援事業	部 局 名	産業経済部
于 切 于 木 仙		課(室)名	産業振興課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

【対象】

対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
市民	(2	$0 \sim 3$	9才)		人	60, 644	62, 539	64, 547
4月								

【事業実績】

【事業大順】										
活 動	指	標	名単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度			
合同就職	面接会	参加者	人		287	348				
数										
	求	職者の与	即就職	哉をす	支援する。					
活動指分析結	標									
分析結	果									
分析結	果									

【事業成果】

<u></u> 【尹	未収え	K														
成	果	指	標	名	単	位	平成28年	·度	平成27	年度	平成	26年度	目標年度	目	標	値
合同数	可就職	面接会	念参加	者	J			287		348			平成32 年度			400
成	水職者の早期就職を支援する。参加者数は減少傾向があるが、一層のPRに努める必要があ 成果指標。る。															

分析 結果

事務事業名	就職活動促進事業		部 局 名 産業経済部
7 437 7 710 11			課(室)名 産業振興課
【基本情報】			
基本目標	01安心して暮らせるま	ちをめざして	
政策	03市民生活の安全・安	定を確保する	
施策	05勤労者福祉を充実す	る	
事業実施期間			
事業区分	C I II tota - La NIII (not : on I)		
. ,,,	市内全域		
関連根拠法令等			
【事業概要】	<u>Г</u>		
現状と課題	供出上フ	企業志向が強ま	っている。結果、労働者が大都市部に
目的	市内企業に対する理解を	深め、市内での	就職を促進する。
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか			
	都市部の大学等に就学し	ている加古川市	及び近隣市町出身の大学生等。
対象			
※誰、何に対して			
事 業 内 容	大阪市等の都市部にて市る。	内企業を知る機	会として、合同企業説明会を開催す
※目的達成のため			
の手段・手法			
【コスト】		【会計】	
	平成28年度(決算見込)	会計	01一般会計
事業費合計	5,765 千円	款	05労働費
国庫支出金	2,882 千円	項	01労働諸費
県支出金	千円	目	02労働諸費
地 方 債	千円		
内その他特財	千円	細目	0 2 5 雇用促進・就職支援事業
一般 財源	2,883 千円		
【コスト推移】			
	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算) 平成26年度(決算)
事業費合計	5,765 千円		千円 千円
【総合評価】			
	□拡充 □維持 □縮小	■改善 □統台	合 □廃止 □休止 □完了
総合評価			の開催となったため、参加学生数が目
※妥当性·有効性	標を下凹った。開催時期 が必要。	 の兄进しや、よ	り企画力、PR力のある受託者の確保
※安当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価			

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	就職活動促進事業	部 局 名	産業経済部
事 伤 事 未 石		課(室)名	産業振興課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

【対象】

対 象	指	標名	呂 単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
労働者書)	(加古川	市統計	人	86, 110		

【事業実績】

【事業実績】						
活 動 拮	指 標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
合同就職説数	明会参加	叩者	人	161		
参加企業数			社	48		
活動指標分析結果	業の参	がかった。	路市で実店 あった。	・ ・ 2回合計で、	学生等161/	人、48社の企

【 事業	<u> </u>							
成果	指 標	名 単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標	値
合同就職談数	明会参加者	人	161			平成32 年度		250
参加企業数	(社	48			平成32 年度		25
成果指標分析結果		数の計画数の	の各回250人〉	< 2回=500/	人を大幅に下回る	る結果とな	った。	